

自分だけの

言葉って

なんだろう？



皆さんは誰に一番たくさん絵手紙をかきますか？

きっとその人は、あなたのことを分かってくれて何でも受け止めてくれる人だったり、目指すものは違えども切磋琢磨できる相手だったりすることでしょう。

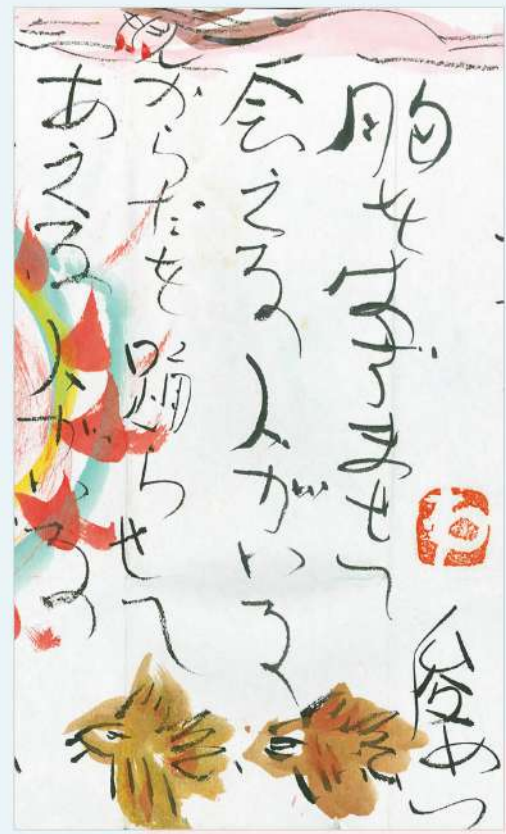
小池邦夫は、手紙は「一人で書きながら二人」とよく言います。

今月は「言葉」と人生を共に歩む小池邦夫、小池と長年交流をしていた民画家・渡辺俊明さん、本誌の連載でもおなじみの詩人・山田喜代春さんの手紙を紹介します。



小池邦夫の言葉と娘(当時小3)の絵による 親子合作絵手紙 はがき

藤本ホトケと
 今更う月には
 いっもにぬ合
 を入れてい
 るよ
 手紙



君の真情が
 しみこんだ

かいて、送って、
みんなでおしゃべり

ひろば

テーマ 「墨の濃淡でかく野菜・果物」
濃いも淡いも自由自在に楽しもう。
自由絵手紙／なんでも100字／活動報告



黒沢弘子(愛知)
反抗期の息子をもつ娘に宛てて。
フレ、フレ、ママさん!



上田律子(埼玉)
孫の受験、当日は勉強して
きたこと全部出して。



東川達子(兵庫)
2月号「対面講座始まるよー」の誌面を見て
心躍っています。弾けてみたい、私も。



前田利子(宮城)
右手の動かない夫は左手だけで
手品のように野菜をつくります。



山科靖子(兵庫)
煮物が大好きだった母。
あの味が忘れられないです。



初心から学ぶ『へたでいいへたがいい』 絵手紙教室

月刊誌を使って
好きな時に好きな場所で
学んでいきましょう

こいけ・くにお

1941年(昭和16)愛媛県松山市生まれ。19歳より絵手紙をかき始め、「へたでいいへたがいい」を
モットーに絵手紙運動をつづける。日本絵手紙協会名誉会長。